

令和5年11月13日開催 政府主催 全国都道府県知事会議
(閣僚懇(各閣僚と知事の懇談))における西脇知事発言

この春の文化庁の京都移転は、地方創生につながる文化政策の新たな潮流を生み出す絶好の機会であり、「食」や「文化観光」などの文化資源を活用した施策の企画立案を加速化していただきたいです。

また、脈々と受け継がれてきた「古典」は、私たちの心のよりどころとなる重要な文化の一つでありますので、学校や地域において古典の学習を活発化させるなど、「古典の日に関する法律」の趣旨に沿った認知度向上の取組をぜひ展開していただきたいと思います。

更に、今回の補正予算で、文化財の強靱化予算として185億円を計上いただきまして誠にありがとうございました。引き続き、重要文化財の保存や修理等に必要な予算を確保していただきますとともに、修理技術の継承や人材育成の拠点となる国立文化財修理センターを速やかに設置するなど、保存・活用サイクルの好循環を実現するため、ぜひとも積極的な取組をお願いしたいと思います。

※ 西脇知事の発言を受けた、盛山文部科学大臣の発言については、
[総務省HP\(「会議録」のp20\)](#)(※外部リンク)に掲載されています。

